

令和7年度 第2回学校運営協議会 報告

1 目的

今年度の学校経営計画及び運営方針に基づいた指導成果指標、各分掌の重点目標や各種取り組み内容等の計画について協議する。また委員の方々から本校の学校運営に関する御意見等を頂戴し、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進するとともに学校活性化のための方策について共に考え、本校教育の充実・発展に寄与する。

2 開催日

令和8年2月16日(月) 14:00～15:55

3 場所

本校大会議室

4 出席者

会長 渡 邊 学 (岩手大学農学部附属寒冷F S C准教授)
副会長 畠 山 栄 一 (前新岩手農業協同組合常務理事)
委員 岡 田 幸 一 (滝沢市立滝沢第二中学校長)
委員 高 橋 正 明 (同窓会支部事務局長)
委員 川 村 尚 雄 (川前自治会長)
委員 鳥 居 薫 (国際ソロプチミスト盛岡トレジャー)
委員 須 藤 政 幸 (前PTA役員)
委員 鈴 木 稔 (セブンスヘブンファーム代表取締役)
委員 田 山 千 晶 ((社福)いわて共同福祉会特別養護老人ホームはなみずき施設長)
委員 近 藤 修 三 (滝沢里山研究会事務局長)

【欠席】

委員 藤 澤 信 也 (白石食品工業(株)ホールセール事業部マネージャー)

【本校職員】

校 長	佐 藤 紀 文	動物科学科主任	大久保 隆 広
副 校 長	川 口 史 朗	植物科学科主任	今 野 直 美
副 校 長	千 葉 章 浩	食品科学科主任	伊 藤 加 奈 子
事 務 長	福 田 隆	人間科学科主任	日 山 玲
総 務 主 任	西 出 和 久 (兼委員)	環境科学科主任	駒 嶺 翔
教 務 主 任	金 野 美 香 【欠席】	特別専攻科主任	北 川 潤
生徒指導主事	中 島 正 治		
進路指導主事	越 田 正 信		
舎 監 長	佐 藤 恒 顕		
保 健 主 事	木 戸 口 俊 子		
図 書 主 任	千 葉 聖 子		
農 場 長	小 野 悟 (兼委員)		

5 次第及び内容（要旨）

（1）開会

（2）学校長挨拶

委員の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、御理解と御協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。また、今年1年間委員を務めていただき、ありがとうございました。早くも令和7年度は残すところ1ヶ月半となり、3年生は、2週間後の3月1日が卒業式となります。また、1、2年生は既に後期末考査が終わり、次の学年スタートのために、様々な準備を進める重要な期間となります。

本日は、今年度の本校教育活動の報告および、令和8年度の活動に向けての内容を中心に協議いただきますが、今後も本校の学校運営は、本校職員だけの狭い考えではなく、委員の皆様をはじめとする、地域の方々と共に、学校運営を進めていきたいと考えていますので、本日は、忌憚のない御意見をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

（3）報告（担当者から説明）

- ア 部活動の大会成績
- イ 進路決定状況
- ウ 「盛農我らの軌跡」（本校新聞等掲載紹介抜粋）

（4）協議（担当者から説明後、質疑）

- ア 重点目標等達成状況【校長】
- イ 各課・科取組状況及び反省事項【各課・学科主任】
- ウ 「魅力化協働パートナー」との連携事業報告【学科主任】
- エ 学校評価に係るアンケート集計結果（保護者・生徒）【副校長】
- オ その他

（6）協議（担当者から説明後、質疑）

- ア 令和7年度学校経営計画【校長】
- イ 令和7年度各課・科重点目標【各課・学科主任】
- ウ 令和7年度「魅力化協働パートナー」との連携事業【各学科主任】

（7）委員の皆様から（質問、提言、指導・助言等）

【学校運営協議委員 A委員】

（報道等から）盛岡農業高校への志願者が増えていることはよい方向である。オリンピックの報道でメダルを獲得した選手が「支援をしてくれた人への感謝の気持ち」をコメントしている選手が多い。感謝を表せる生徒の育成をお願いしたい。

学校では毒劇物取扱者資格についての取り組みはしているのか。

【農場長】

毒劇物取扱者資格への取り組みはしていない。授業では取り組んでいないが、受験希望者があれば個別に支援を行う。

【学校運営協議委員 B委員】

義務教育では、支援学級に所属している生徒が、進学先として普通高校を希望する生徒が増加している。これからの高校は、多様な生徒へ対応するための支援員などのスタッフを増やしていくことが必要となってきたと考えている。

【学校運営協議委員 C委員】

子どもが盛岡農業高校にお世話になり、進学先で頑張っているようです。盛岡農業高校で学んだことや、友達や先生との関わりの経験が大学での自信となっている。これからの盛岡農業高校の教育活動に期待している。

【学校運営協議委員 D委員】

盛岡農業高校への志願者が増えていることと聞き、大変うれしく思います。3年後の盛岡農業高校創立150周年に向けて応援していきたい。

【学校運営協議委員 E委員】

農業についての環境が厳しくなり、農業従事者の減少が止まらない。その一方でコメ不足が騒がれているが、農業政策が元に戻り先が見えない状況である。稲作に興味関心を持つ子どもたちが増えて欲しいと願っている。

【学校運営協議委員 F委員】

昨年、北海道で実施された、全国ホルスタイン共進会リードマンコンテストで盛岡農業高校の生徒が入賞した。リードマンコンテストだけでなく、参加した盛岡農業高校生のあいさつや行動が素晴らしかった。日頃の先生方の指導の成果と感じている。動物科学科の生徒のみの取り組みではなく、他の学科の生徒が酪農や畜産関係に興味を持ってもらえるように「畜産クラブ」のようなものがあったらよいのではないかと。

さらに、農業に興味を持ってもらえるように中学生の農業体験の支援をお願いしたい。そして現在の農業経営で農福連携も重要視されているので、農業高校でも積極的に取り組んで欲しい。

【学校運営協議委員 G委員】

人間科学科の生徒が、福祉施設での夏祭りのお手伝いをしていただいている。入居者だけでなく施設の所員も刺激を受けており、若い生徒の皆さんの活躍を期待している。

また、盛岡農業高校のユニバーサルファームでの交流会でも入居者と職員がお世話になっている。入居者は交流会に参加すると生活の満足度が向上するのか笑顔が戻る。

いじめの話題があったが、福祉施設の職員の研修では命の大切さを必ず学ぶことになっている。学校でも命の大切さを学校活動で取り扱い訴え続けられれば、いじめも減っていくのではないかと。

【学校運営協議委員 H委員】

滝沢市内で山の活動をしているが、市の防災無線で盛岡農業高校のクマの情報が聞こえてきた。学校活動等で職員の皆さんが苦慮していると推察している。クマの関係で山林が危険というイメージが定着し、山から人が離れていくことが予想される。岩手は山林が多く、ま

すます山林の重要性が高まっており、一人でも多く山や森林、環境の大切さを知っている子どもたちが育って欲しいと願っている。

(8) その他

特になし

(9) 閉会